

横浜地域連合 「第31回定期総会」を開催！

2021年11月30日(火)、ワークピア横浜において「第31回定期総会」を開催しました。今回の定期総会は昨年と同様、コロナ禍における感染症対策のため、代議員数を65名に減らし、来賓は連合神奈川のみという臨時措置による開催となりましたが、2022年度の活動方針、予算が無事決定されました。

冒頭、高橋議長は「今年度もコロナ禍の影響で本当に厳しく辛い状況だったが、政策制度要求と提言の実現に向けた取り組みについては、皆さんからいただいたものを横浜市に提出するとともに、市議、県議の各会派に対する要請行動も実施することができた。各級選挙については8月の横浜市長選から先月行われた解散総選挙まで慎重に対応してきた。市長選挙では様々困難があったが、推薦決定した山中氏が当選したことは横浜地域連合にとってプラスになった。続く横浜市会議員の補欠選挙磯子区と金沢区、10月の衆議院議員選挙については、結果総括と合わせてしっかりと対応し、次回の参院選に活かしていきたい。横浜地域連合は14万人組織である。この大組織の仲間が思いを一つにして取り組んでいければ、素晴らしい結果を生み出すことができると信じている。改めて全員参加での取り組み推進をお願いしたい。」と挨拶しました。



今回の総会は役員・構成組織代議員による開催でしたが、上部団体である連合神奈川からは吉坂会長にご臨席いただき、ご挨拶をいただきました。

続いて山中横浜市長からいただいたメッセージを大会議長が代読しましたが、その中で「コロナ禍における事業継続や再生に向けた支援、設備投資への助成」、「観光分野を立て直すためのキャンペーン」、「ワクチン接種加速化の状況」、「企業誘致、スタートアップの成長支援」などを始め、現場で働く方々をしっかりと支えていきたいとの思いが述べられていました。

議事に入り、「2021年度一般活動報告」のあと、「2022年度活動方針」が提案され、第1号議案「運動方針(案)」、第2号議案「予算(案)」、第3号議案「役員体制(案)」、第4号議案「総会スローガン(案)」、第5号議案「総会宣言(案)」は満場一致で決定され終了しました。

最後に高橋議長の発声により、団結ガンバロウを三唱し、閉会しました。



横浜地域連合五役会役員の交代

新任役員	副議長	蔵光 裕明	退任役員	副議長	柳井 健一
	副議長	高橋 雄二		副議長	鈴木 一美
	副議長	福居 恵子		副議長	内田 秀和
	副議長	金原 徹		副議長	寺田 浩
	事務局次長	鈴木 光敏			